

日本薬局方 パンクレアチン

パンクレアチン「ヒシヤマ」

PANCREATIN

貯 法：30℃以下で保存、開封後吸湿注意
使用期限：容器等に記載

※※注 意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	16000AMZ05030
薬価収載	1965年11月
販売開始	1965年11月
再評価結果	1983年 4月

禁忌（次の患者には投与しないこと）

1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. ウシ又はブタ由来の蛋白質に対し過敏症の既往歴のある患者〔本剤は、ウシ又はブタの膵臓由来の消化酵素であるため。〕

【組成・性状】

1. 組成

販 売 名	パンクレアチン「ヒシヤマ」
有 効 成 分 （1g中）	日本薬局方 パンクレアチン 1g

2. 製剤の性状

性 状	白色～淡黄色の粉末で、特異なおいがある
-----	---------------------

【効能・効果】

消化異常症状の改善

【用法・用量】

パンクレアチンとして、通常成人1回1gを1日3回食後に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過 敏 症 [※]	くしゃみ、流涙、皮膚発赤等

注）このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

2. 適用上の注意

服用時

- 1) 投与に際しては、直ちに飲みくたすように注意すること。〔小児が本剤を口内に大量に停滞させたため、口内炎及び口腔内潰瘍を起こしたとの報告がある。〕
- 2) 投与に際しては、粉末を吸入しないように注意すること。〔本剤の吸入により気管支痙攣、鼻炎を起こしたとの報告がある。〕

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：パンクレアチン（Pancreatin）

本 質：食用獣、主としてブタの膵臓から製したもので、でんぶん消化力、蛋白消化力及び脂肪消化力がある酵素剤である。

性 状：・白色～淡黄色の粉末で、特異なおいがある。

※※【取扱い上の注意】

安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、3年間〕の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、パンクレアチン「ヒシヤマ」は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。¹⁾

【包 装】

500g

※※【主 要 文 献】

1) ニプロファーマ(株)：社内資料

※※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

ニプロファーマ株式会社 製品情報室
〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番7号
TEL 06-6228-8676
FAX 06-6231-9849



※製造販売

ニプロファーマ株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番7号